

小児看護論

[講義] 1年・2年 選択 30時間 2単位

《担当者名》○木浪 智佳子 [kinami@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

学生の研究テーマや小児看護の関心領域に基づき、特定の健康課題、健康レベルあるいは発達段階にある子どもとその家族を対象とした小児看護の先行研究を検討し、小児看護の質向上に寄与できる研究者としての科学的思考を身につける。

【学修目標】

小児看護の関心領域を特定し、その領域における研究動向を概観するとともに研究成果を踏まえた今後の課題を明らかにすることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 }	文献検討の実施 1	学生の研究テーマあるいは小児看護の関心領域における国内外の文献検索を実施し、国際的な研究動向を把握する	木浪
2			
3 }	文献検討の実施 2	先行研究をもとに、学生の関心領域におけるわが国での小児看護の現状と課題を検討する	木浪
4			
5 }	自己の関心領域において用いられる理論・概念・アセスメント方法・尺度等の検討 1	学生の関心領域における先行研究を批判的に検討し、用いられている概念、理論、小児とその家族のアセスメント方法、援助方法、アウトカム測定に用いられる尺度や評価方法等を検討する	木浪
8			
9 }	自己の関心領域において用いられる理論・概念・アセスメント方法・尺度等の検討 2	周辺領域の研究動向も踏まえ、学生の関心領域において中心となる概念、活用可能な理論やアセスメント方法を明らかにし、今後の研究課題を検討する	木浪
15			

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

ゼミナールへの準備学習状況(30%)、プレゼンテーション(30%)、課題レポート(40%)

【教科書】

なし

【参考書】

随時提示する

【学修の準備】

事前に指定された課題に該当する文献を読み、課題に沿ったプレゼンテーションの準備をして講義に臨む。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという看護学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。